

AIで実際に会社を作った人が、 経営者の隣でAI導入の判断を支援する。



【実話】2026年1月～2月、たった28日でAIだけを使って――



事業計画・SWOT分析

ManusでSWOT・市場分析を30分で完成



ロゴ・アプリデザイン

ManusでUI含めて生成・制作



競合分析・市場調査

Manusを使いSynthesia・HeyGen等を分析



iOSアプリ開発・App Store公開

Manus・Replit・Antigravity・Claude Code / 外注ゼロ



マーケティング戦略・SNS設計

ManusでYouTube・SNSマーケティングを策定



定款作成

Manusで定款ドラフトを作成



法人設立 (ArthurBrief株式会社)

2026年2月・弁護士不要



特許出願 (特願2026-060069)

弁護士不要・AIで明細書作成

227,500行

開発コード

月5～10万円

AIツール費用

約1/10

エンジニア採用比コスト

一人で、外注ゼロ、AIだけで、すべてやりきった。

2026年1月～2月 / 法人2社目設立 / 特許出願1件

―― 3つの希少な競合優位性 ――



20年のコンサル方法論

KPMG・ベリングポイント・デロイトトーマツで20年。RFP・Fit&Gap・要件定義・ベンダー選定の上流コンサル力をそのままAI導入支援に活用。



AI全領域の実装力

経営戦略・事業計画・ロゴ・コード・法的書類まで、AIで一気通貫で実装。「できるかできないか」を自ら判断・実行できる実践力。



自社製品で実証済み

ArthurBrief (App Store公開中)・Catalyst (DXコンサル自動化) が方法論の生きた証拠。顧客に提案するノウハウは自社で先に検証済み。

浅見 純一郎

Junichiro Asami

慶應義塾大学工学部卒 / KPMG・ベリングポイント・デロイトトーマツで20年間 ERP/CRM/SCM 導入 PM / 著書4冊
イノベティブ・ジャパン株式会社 代表取締役 / ArthurBrief株式会社 代表取締役 (2026年2月 AI単独で設立)
江東区観光協会 理事 / 元 江東区選挙管理委員会 委員長

特許 1件

出願済 (準備中3件)

227,500行

開発コード行数 (3システム計)

453万

Xインプレッション

1～1.5億円

推定企業価値 (DCF法)

AIを導入したいが、何から手をつければいいのかわからない

ベンダーの提案が正しいか、社内に判断できる人がいない

エンジニアを採用する余裕はないが、DXは待ったなしだ

AI・クラウドを導入したが、コストが想定より膨らんでいる

大手ファームの上流方法論と、AIで実際に会社を作った実践力——

この2つを兼ね備えた顧問は、ほとんど存在しない。

技術者には「何を作るべきか」「組織への定着」「コストと効果のバランス」が抜けがちです。大手ファームは高コストでスピードが遅い。そのギャップを埋めるのが当社の役割です。

浅見 純一郎 / イノベティブ・ジャパン株式会社

なぜ当社なのか

大手ファーム

- ◎ コンサル方法論
- △ AI実装力
- × 中小企業対応
- × 自社AIプロダクト

当社 ★

- ◎ コンサル方法論
- ◎ AI実装力
- ◎ 中小企業対応
- ◎ 自社AIプロダクト

AI系エンジニア

- × コンサル方法論
- ◎ AI実装力
- △ 中小企業対応
- △ 自社AIプロダクト

サービスメニュー

プレAI時代のDXは「どのシステムを選ぶか」が中心だった。AIエージェント時代は違う——AIが人の仕事を代替し始め、「誰が何をするか」という組織設計そのものが問われる。パッケージを選ぶより先に、人とAIの役割を設計しなければならない。

従来の進め方がそのままでは通じない領域が出ている。その変化の過程に伴走します。

サービス	内容	価格目安
AI活用診断 1~2日	現状ヒアリング → ROI試算 → 優先施策ロードマップの提供まで。(ツール導入・実装は含まない)	10~30万円
AI活用アドバイザー 月次MTG	月2回MTG+チャット対応。AI活用の優先順位・ツール選定・コスト削減の助言まで。(実装・開発は含まない)	月20~50万円
フラクショナルCTO 週1日~	AI/IT技術の意思決定・ベンダー選定・採用面接の技術評価を経営者の隣で支援。(常駐・フルタイム対応は含まない)	月50~100万円
DX構想策定 1~3ヶ月	現状分析・要件定義・ベンダー選定まで一気通貫。(システム開発・運用は含まない)	100~300万円

まず「AI活用診断」から始めませんか？

現状分析 → ROI試算 → 優先施策ロードマップをご提供します。
X (@junichiro_asami) へのDM / info@innovative-jp.asia
コンタクトフォーム: www.innovative-jp.asia/contact



innovative-jp.asia

ウェブサイト・お問い合わせ

1

STEP 1

現状ヒアリング

業務フロー・課題・
ツール利用状況を整理

2

STEP 2

分析・ROI試算

AI活用可能領域を特定し
費用対効果を算出

3

STEP 3

施策ロードマップ

優先順位付きの
実行計画をご提供